

トルコギキョウ無花粉品種切り花の前処理剤使用効果

福島県農業総合センター 作物園芸部 花き科

1 部門名

花き—トルコギキョウ—流通

2 担当者名

熊坂京

3 要旨

トルコギキョウは、輸出において特に日本独自の特徴的な品種や品質の高さが求められている。近年、日本のメーカーにより日持ち性の向上を目的として無花粉品種が開発され、県内でも導入が進んでいる。そこで当該品種の優れた日持ち性に着目し、切り花の輸出を想定した輸送条件において前処理剤の効果进行调查した結果、前処理剤の使用により日持ち期間は約3日間延長した。

- (1) 日持ち期間は、前処理剤無しが約14日、前処理剤有りが約17日となった(表1)。
- (2) 無花粉品種「PFダブルスノー」を収穫後40cmに調製し、トルコギキョウ用前処理剤で一晚水揚げを行った。5本/束をスリーブで包装し、切り口に切花用保水ゼリーを装着した後、横箱に梱包し中国北京市への輸出シミュレートを実施した(図1)。
- (3) 収穫から日持ち調査開始までの期間は9日間であった。なお、日持ち調査開始直後に切り花の水揚げ不良が起きたため、切り戻して活け水を消費者用後処理剤に替え20°C暗黒条件で水揚げを行ったところ回復した(図1)。

表1 前処理剤の有無による無花粉の日持ち期間(2024)

品種	前処理剤	日持ち数(日)
PFダブルスノー	有り	17.0
	無し	13.9

※生け水は消費者用後処理剤(商品名:美咲)を使用した。

※一般財団法人日本花普及センターの日持ち評価テストマニュアルを参考とした。



1) 振動処理方法: 郡山ハイテクプラザに梱包した箱を持ち込み小型輸送振動試験装置(m130LS)を使用した。試験条件はASTM D 4169-2014航空輸送とした。

図1 輸出シミュレートの流れ

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和5～6年度
- (2) 研究課題名 県産農産物の輸出拡大に向けた生産〔花き輸出体制構築支援事業〕

5 主な参考文献・資料

- (1) 市村一雄, トルコギキョウ切り花の品質保持技術, 農業および園芸, 95(11), p.973-977, 2020.